

株主の皆様へ

# 第80期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで



**トヨタ紡織株式会社**

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
さて、当社第80期中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

## 全体の概況

当中間期の自動車業界におきましては、各社の新型車投入・拡販努力により国内販売の普通乗用車の増加と欧州向け輸出の増加により、国内生産全体では、前年を上回りました。

このような情勢の中で、当社は、かねてより研究開発・生産技術力の強化とともに事業拡大を進めております自動車用内装システムサプライヤーとして、国内においては、サイオン、クラウン マジェスタ、ノア、ヴォクシー、ポルテ、ハイエース、アイシスが、タイ国においては、トヨタ自動車の世界戦略車IMVの第一車種ハイラックスVIGOが、生産開始になりました。また、自動車用フィルター総合メーカーとしては、軽量・コンパクト・低コストな吸気システムなどの開発と生産に注力しております。

グローバル展開といたしましては、中国におきまして、本年6月、天津市に株式会社デンソーとの合併で、フィルターの生産子会社 天津豊田紡織自動車部品有限公司を、7月に寧波市にシートファブリックの生産子会社 寧波豊田紡織自動車部品有限公司を、9月に広州市に広州自動車部品有限公司との合併で内装品の生産会社 広州桜泰自動車部品有限公司を、アイン精機株式会社との合併でシート部品の生産会社 豊愛(広州)自動車座椅部品有限公司をそれぞれ設立いたしました。また同月、ベトナムのハイフォン市にカーテンシールドエアバッグ(袋体)の生産子会社 トヨタボウハイフォン社を設立し、お客様の要請に応えられるよう生産拠点の拡充を推進しております。

## 業績

当中間期の単独決算の業績につきましては、売上高は、内装システム製品、エアフィルターや成形天井などの増産・増収により、前年同期に比べ137億2千9百万円(29.2%)増加の608億2千1百万円となりました。経常利益は、製品構成・製品価格変動等の影響や労務費の増加などの減益要因はありましたが、増産増収の影響、社内合理化と原価改善などにより、前年同期に比べ8億6千8百万円(40.8%)増加の29億9千4百万円となりました。また、特別損失の固定資産減損損失などを差し引きました中間純利益は、4億8千6百万円(37.5%)増加の17億8千3百万円となりました。

連結決算の業績につきましては、売上高は、前年同期に比べ147億8千8百万円(27.4%)増加の688億2千7百万円となりました。利益につきましては、経常利益は、前年同期に比べ9億7千5百万円(44.2%)増加の31億8千2百万円、中間純利益は、前年同期に比べ5億3千7百万円(42.3%)増加の18億8百万円となりました。

## 配当金

当期の中間配当金につきましては、さる10月28日開催の取締役会におきまして、前年同期に比べ1円50銭増配の1株につき5円50銭とし、支払開始日を11月26日とさせていただきますので、よろしくご了承を賜りたいと存じます。

## 今後の見通しと取り組み

今後の経済見通しにつきましては、国内・世界経済ともに回復傾向が続くと見込まれますが、原油価格の動向など先行き不透明感があり、依然として予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような中で、当社におきましては、10月1日にアラコ株式会社およびタカニチ株式会社と合併し、新会社「トヨタ紡織株式会社」として順調にスタートいたしました。

新会社は、「世界トップレベルの内装システムサプライヤー・フィルターメーカーを目指す」をビジョンに掲げ、快適な車室空間の提供 世界トップの自動車用フィルターの提供 グローバルな供給体制の構築を目指し、グローバル競争を勝ち抜いていく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年11月

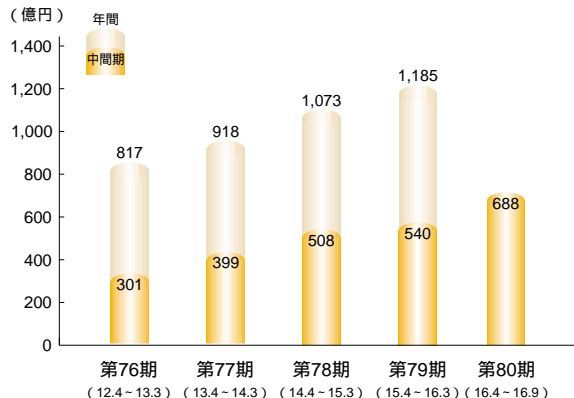


取締役会長 好川純一 取締役社長 本並正直

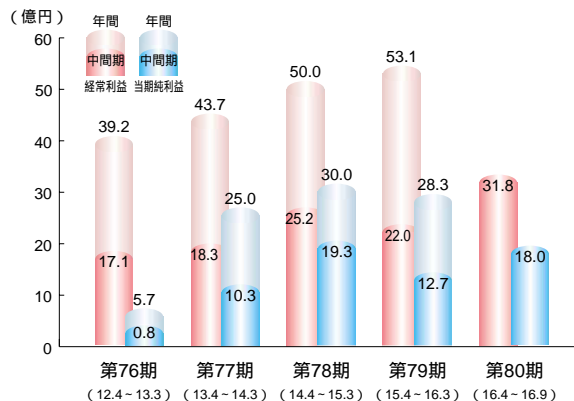
# 業績の概況

## 連結決算

### 1. 連結売上高の推移



### 2. 連結利益の推移

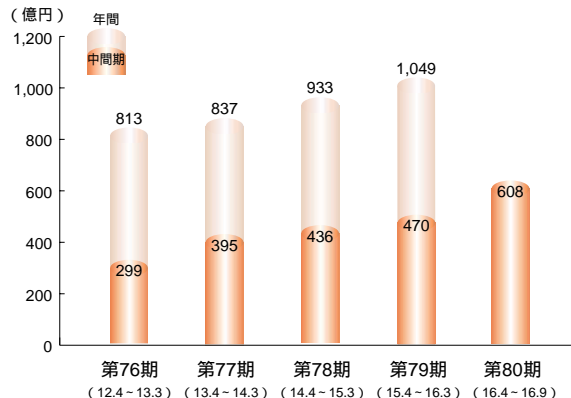


### 3. 連結子会社および関連会社

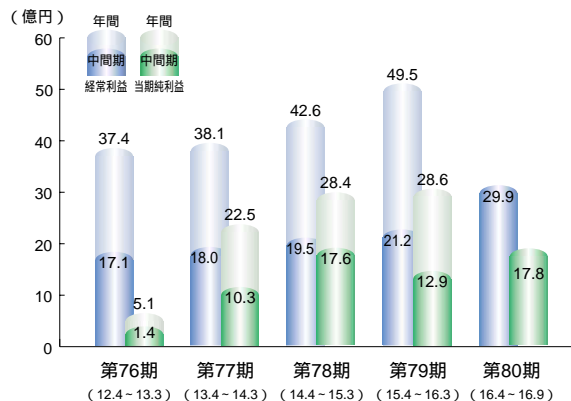
日本	子会社	4社	関連会社	2社
米国	子会社	4社	関連会社	1社
中国	子会社	3社	関連会社	2社
タイ	子会社	3社	関連会社	1社
ベトナム	子会社	1社		

## 単独決算

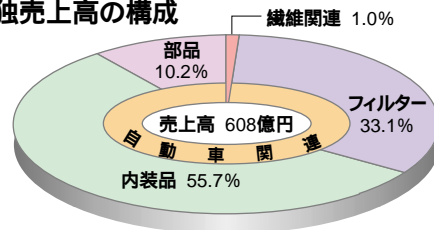
### 1. 単独売上高の推移



### 2. 単独利益の推移



### 3. 単独売上高の構成



# 豊田紡織からトヨタ紡織へ

平成16年10月1日 豊田紡織株式会社はアラコ株式会社、タカニチ株式会社と合併し、新会社 **トヨタ紡織株式会社** となりました

当社とアラコ株式会社およびタカニチ株式会社は、本年5月10日に合併契約を締結、10月1日をもって3社が合併いたしました。

合併後は、3社が個々に展開してきたシートシステム、内装システムが一体化され、内装全体(除くインパネ)が事業領域となり、車室空間をトータルにみた開発・提案が可能となります。さらに、各社のノウハウを結集し、リソースを総合的・効率的に活用することによって、開発力の強化と海外展開を一段と加速させ、新技術・新商品を世界に提供できるグローバル内装システムサプライヤーとして大きく飛躍していくことが可能となります。

新会社「トヨタ紡織株式会社」は、快適な車室空間の提供、世界トップの自動車用フィルターの提供、グローバルな供給体制の構築を目指し、世界トップレベルの内装システムサプライヤー・フィルターメーカーを目指してまいります。



5月10日 合併契約調印式

## 〔社章〕



## 〔シンボルマークコンセプト〕

Toyota BoshokuのTとBを組み合わせてデザインしました。柔らかくかつスピード感あふれるフォルムは、躍動感、ワクワク感を抱かせるトヨタ紡織の未来をイメージしています。



刈谷本館

## よりやさしく、心地よく、安らかな車室内空間の創造をめざして 世界トップレベルの内装システムサプライヤー・フィルターメーカーへの挑戦

### 快適な車室空間の提供

豊田紡織



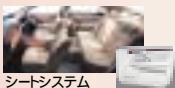
内装システム

アラコ



シートシステム ドアトリム

タカニチ



シートシステム ドアトリム



シート、ドアトリム、天井、カーペットなど内装全体（除くインパネ）の開発・生産をし、快適で安全、魅力あるカーインテリアを実現。

### グローバルな供給体制の構築

お客様の要請に、いつでもどこでも対応できる体制(開発・生産)の構築。

### 世界トップの自動車用フィルターの提供

<新技術の紹介>

軽量・コンパクト・低コストな吸気システムを開発、生産

従来製品に比べ重さを30%、体積を20%低減した自動車用吸気システムを株式会社デンソーと開発し、生産を開始しました。樹脂製シリンドラヘッドカバー一体エアクリナーと、部品接合部の形状の最適化と特殊な溶着方法により薄肉化と世界トップレベルの耐圧性を両立させた樹脂製インテークマニホールドで構成されています。環境負荷物質を使用していないため、欧州廃車指令にも適合しています。

トヨタ自動車株式会社とダイハツ工業株式会社が本年6月に発売した共同開発小型車（トヨタ名「パッソ」、ダイハツ名「ブーン」）に搭載されています。



樹脂製シリンドラヘッドカバー  
一体エアクリナー +  
樹脂製インテークマニホールド



## ● 内装品生産・納入拠点 いなべ工場、堤工場が稼働

自動車用内装品(成形天井、フロアカーペットなど)の効率的な生産および納入のため、本年4月に三重県いなべ市にいなべ工場を建設、8月には愛知県豊田市に堤工場を建設し、稼働させました。両工場では、お客様の生産計画にあわせて内装品を生産し、ジャスト・イン・タイムで納入します。



いなべ工場



堤工場

## ● 大口工場実験場完成

本年5月、大口工場実験場が完成しました。当実験場は、技術力向上のため、NV(振動騒音低減技術)開発業務増大に対応できる設備増強 開発部門の集約化による開発効率向上 内装材の成分分析設備の増強を狙いとして建設しました。



## ● 岐阜バンパ工場増築

本年9月、取引先拡大に伴う補給バンパの生産増加に対応するため、岐阜バンパ工場を増築しました。



## 中国に生産拠点を設立

### 天津

「天津豊田紡汽車部件有限公司」(フィルター生産子会社)

本年6月、天津市に株式会社デンソーとの合弁で、自動車用フィルターの生産子会社を設立しました。エンジンやエアコン用のフィルターの中国における現地生産を開始します。

### 寧波

「寧波豊田紡汽車部件有限公司」(シートファブリック生産子会社)

本年7月、寧波市に自動車用シートファブリックの生産子会社を設立しました。中国国内への供給のほか、日本や北米における需要拡大に対応していきます。

### 広州

「広州桜泰汽車飾件有限公司」(内装品生産拠点)

本年9月、広州市に広州汽車零部件有限公司との合弁で、自動車内装品生産会社を設立しました。同社では、シート、ドアトリム、成形天井などの自動車内装品の生産を行います。

「豊愛(広州)汽車座椅部件有限公司」(シート部品生産拠点)

同9月、広州市にアイシン精機株式会社との合弁で、自動車用シート部品生産会社を設立しました。高品質・低コストの自動車用シートのフレームとシート用機能部品を一体生産し、広州桜泰汽車飾件有限公司に納入します。



< 当社の中国拠点 > 新規拠点 既存の拠点 平成16年10月1日現在

## ベトナムに生産子会社を設立

「トヨタボウハイフォン社」(カーテンシールドエアバッグ(袋体)生産子会社)

本年9月、ハイフォン市にカーテンシールドエアバッグ(袋体)の生産子会社を設立しました。先進国を中心とした今後の需要拡大に対応していきます。

## ● 当社および海外子会社で「ISO/TS16949」認証取得を拡大

### 取得状況

会社名・工場名	登録製品	取得年月
刈谷工場、岐阜工場、大口工場、木曽川工場、尾西工場、豊橋工場、豊田工場	吸気系部品、エアフィルター、オイルフィルター、イグニッションコイル、ABSコイル、回転センサー、シートファブリック、成形天井、フロアカーペット、ドアトリム、用品マット、サイレンサー、フェンダーライナー、射出成形品、本木パネル、嵩上げ材、ストラップ、シートベルトウェビング、ネット、エアバッグ用布製品、ハンパなど	平成16年10月
北米子会社 TBDNテネシー社	吸気系部品	平成16年4月
タイ子会社 STBテキスタイルズインダストリー社	シートファブリック、エアフィルター、カーテンシールドエアバッグ(袋体)	平成16年4月
タイ子会社 トヨタボウフィルトレーションシステム(タイランド)社	オイルフィルター	平成16年7月



STBテキスタイルズインダストリー社  
ISO/TS16949登録証



トヨタボウフィルトレーションシステム(タイランド)社  
ISO/TS16949登録証



TBDNテネシー社  
ISO/TS16949登録証

ISO/TS16949とは  
ISO/TS16949とは、QS-9000(米国)、VDA 6.1(ドイツ)、AVSQ(イタリア)、EAQF(フランス)の自動車業界の規格を統合した包括的な品質マネジメントシステム規格です。ISO/TS 16949に認証登録することで、複数の顧客の要求事項を満たすことができます。

<ISO/TS16949を要求している自動車メーカー>

GM、フォード、ダイムラークライスラー、BMW、フォルクスワーゲン、フィアット、PSAプジョーシトロエン、ルノー



# 決算の概要

連結貸借対照表(平成16年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	35,161	流動負債	35,053
現金預金	4,045	支払手形及び買掛金	18,911
受取手形及び売掛金	19,897	短期借入金	6,396
有価証券	2,914	未払費用	5,392
たな卸資産	4,038	その他の流動負債	4,352
繰延税金資産	1,223	<b>固定負債</b>	6,519
その他の流動資産	3,154	長期借入金	2,500
貸倒引当金	111	退職給付引当金	3,333
<b>固定資産</b>	39,699	その他の固定負債	686
有形固定資産	33,769	<b>負債計</b>	41,573
建物及び構築物	13,520		
機械装置及び運搬具	12,038	<b>(少数株主持分)</b>	
工具器具備品	3,447	少数株主持分	2,297
土地	2,717	<b>(資本の部)</b>	
建設仮勘定	2,044	資本金	4,933
無形固定資産	750	資本剰余金	2,800
投資その他の資産	5,179	利益剰余金	22,941
投資有価証券	2,697	その他有価証券評価差額金	970
繰延税金資産	1,151	為替換算調整勘定	327
その他の投資その他の資産	1,330	自己株式	328
		<b>自己資本計</b>	30,989
<b>合計</b>	74,860	<b>合計</b>	74,860

貸借対照表(平成16年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	29,329	流動負債	26,434
現金預金	2,162	支払手形及び買掛金	17,523
受取手形及び売掛金	18,513	未払費用	4,929
有価証券	2,582	その他の流動負債	3,981
たな卸資産	2,412	<b>固定負債</b>	6,406
その他の流動資産	3,772	長期借入金	2,500
貸倒引当金	113	退職給付引当金	3,295
<b>固定資産</b>	34,603	その他の固定負債	611
有形固定資産	24,006	<b>負債計</b>	32,840
建物及び構築物	10,743		
機械装置及び運搬具	7,425	<b>(資本の部)</b>	
土地	2,361	資本金	4,933
その他の有形固定資産	3,476	資本剰余金	2,800
無形固定資産	21	利益剰余金	22,716
投資その他の資産	10,575	その他有価証券評価差額金	970
投資有価証券	2,696	自己株式	328
子会社株式・出資金	6,594	<b>自己資本計</b>	31,092
その他の投資	1,297		
貸倒引当金	14		
<b>合計</b>	63,933	<b>合計</b>	63,933

(注)有形固定資産の減価償却累計額 56,925 百万円

連結損益計算書(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	68,827
売上原価	62,019
販売費及び一般管理費	3,765
営業利益	3,042
営業外収益	317
営業外費用	177
経常利益	3,182
特別損失	352
減損損失	242
福利厚生制度変更に伴う過年度費用	109
税金等調整前中間純利益	2,829
法人税、住民税及び事業税	502
法人税等調整額	416
少数株主利益(減算)	101
中間純利益	1,808

損益計算書(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	60,821
売上原価	54,666
販売費及び一般管理費	3,376
営業利益	2,778
営業外収益	343
受取利息及び配当金	97
その他の営業外収益	246
営業外費用	127
支払利息	37
その他の営業外費用	90
経常利益	2,994
特別損失	352
減損損失	242
福利厚生制度変更に伴う過年度費用	109
税引前中間純利益	2,641
法人税、住民税及び事業税	421
法人税等調整額	437
中間純利益	1,783
前期繰越利益	848
中間未処分利益	2,632

(注)1株当たり中間純利益 26円78銭

# 会社の概要

## ● 会社の概要(平成16年9月30日現在)

設立 昭和25年5月  
資本金 4,933百万円  
従業員数 2,171名  
本所 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地  
営業所 東京、大阪  
工場 刈谷、大口、木曾川、尾西、豊橋、  
豊田、田原、堤(以上愛知県)、  
岐阜(岐阜県)、いなべ(三重県)

## ● 株式の状況(平成16年9月30日現在)

### 1 株式の総数

発行する株式の総数 200,000,000 株

発行済株式の総数 67,174,338 株

### 2 株主数

7,257 名

### 3 大株主(上位10名)

株主名	株式数
東和不動産株式会社	18,346,209 株
トヨタ自動車株式会社	10,453,000
株式会社デンソー	3,992,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,692,000
豊田通商株式会社	3,545,000
株式会社豊田自動織機	3,500,000
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,102,700
三井住友海上火災保険株式会社	800,000
長谷虎紡績株式会社	750,000
豊田紡織従業員持株会	724,447

## ● 主な製品(平成16年9月30日現在)

### 自動車関連

#### フィルター

エアフィルター、キャビンエアフィルター、オイルフィルター、  
オートマチック・トランスミッション用フィルター

#### 内装品

シートファブリック、シートベルト、フロアカーペット、成形天井、  
天井材、エアバッグ用布製品、サイレンサー、用品マット、  
本木パネル、ドアトリム、ピラーガーニッシュ  
および上記を使用した内装システム製品

#### 部品

イグニッションコイル、フェンダーライナー、パンパ、回転センサー、  
タイミングベルトカバー、ABSコイル、インテークマニホールド

### 繊維関連

紡績 混紡糸

編織 綿化合繊編・織物、二次製品

## ● 取締役および監査役(平成16年10月1日現在)

取締役会長	好川純一	常務取締役	本輝恒
取締役社長	本並正直	常務取締役	藤川典一
取締役副社長	豊田周平	常務取締役	小野博祥
専務取締役	和田英彦	常務取締役	小鳥居立雄
専務取締役	石川捷三	取締役	齋藤明彦
専務取締役	服部昌幸	常勤監査役	植田豊年
専務取締役	土肥義彦	常勤監査役	池田幸昭
常務取締役	澤崎忠昭	常勤監査役	北山邦幸
常務取締役	今泉潔	監査役	北渡捷司
常務取締役	横内則之	監査役	石川忠司
常務取締役	野口満之	監査役	岡部弘

## ● 執行役員(平成16年10月1日現在)

常務執行役員	村瀬英己	執行役員	飯田耕次
常務執行役員	中川泰	執行役員	中林亨彦
常務執行役員	寺坂邦彦	執行役員	清原國彦
常務執行役員	鈴木啓一	執行役員	柴田和民
常務執行役員	安藤和雄	執行役員	小林伸行
常務執行役員	澤鎬一	執行役員	伊藤文隆
常務執行役員	川端堅嗣	執行役員	古澤昭一
常務執行役員	内藤正	執行役員	寺坂幸一
常務執行役員	栗谷本強	執行役員	原保信
常務執行役員	足立昌彦	執行役員	桂木正樹
執行役員	大島勝三	執行役員	鈴木雅史
執行役員	川窪英夫	執行役員	上田広司
執行役員	板谷秀実	執行役員	酒井賢
執行役員	島田則之	執行役員	宮田徹
執行役員	渡辺俊充	執行役員	蔦木俊行
執行役員	千石郁夫	執行役員	清水匠
執行役員	田口喜夫		

会計監査人

中央青山監査法人

## ● 中間配当金について

平成16年10月28日開催の取締役会において、平成16年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載された株主または登録質権者に対して行う中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

1. 中間配当金 1株につき5円50銭
2. 支払請求権の効力発生日 平成16年11月26日  
および支払開始日

## アナリスト向け、個人投資家向け説明会を開催しています

### ● 機関投資家・アナリスト向け会社説明会を開催

本年6月に東京・日本橋において、機関投資家や証券アナリストを対象とした会社説明会を開催し、当社の業績概要や取り組みについての説明を行いました。

また、7月に東京・大手町で証券専門家を対象としたスモールミーティングを開催するなど、随時、当社の事業内容や取り組みについて紹介する機会を設けています。



会社説明会



企業説明会



カジュアルミーティング

### ● 「名証IRエキスポ2004」に出展

7月に名古屋国際会議場で開催された名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2004」に出展し、アナリスト等証券専門家、個人投資家の方に当社をアピールしました。企業説明会や製品説明などを通じ、当社の状況を理解していただく機会となりました。

### ● 「ノムラ資産管理フェア2004」に出展

9月に名古屋国際会議場で開催された、個人投資家のためのイベントに出展しました。今後、東京でも開催の予定です。



展示ブースでの説明

## ホームページをリニューアルしました

<http://www.toyota-boshoku.co.jp/>

(アドレスも変更しました。)

最近のニュースリリース、会社や製品の紹介など、ホームページ上で最新の情報をご提供しています。業績の情報、決算公告などは「投資家関連情報」のページをご覧ください。

皆様のアクセスをお待ちしております。



## 株式事務のお取扱いについて

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
配当金支払株主確定日	3月31日
基準日	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主(実質株主を含む。)をもって、その決算期に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
株式名義書換 名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 〒100-0005 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8081 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 < 03 > 5683-5111( 代表 )
取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 本店および全国各支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話(通話料無料) < 0120 > 232-711(オペレータ対応) < 0120 > 244-479(音声自動応答 用紙のご請求専用) ホームページアドレス <a href="http://www.ufjtrustbank.co.jp/">http://www.ufjtrustbank.co.jp/</a>
公告掲載新聞	中日新聞、日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書は、当社のホームページ <a href="http://www.toyota-boshoku.co.jp/bs_pl/">http://www.toyota-boshoku.co.jp/bs_pl/</a> に掲載しております。
上場証券取引所	東京および名古屋の各証券取引所
本社所在地	愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 〒448-8651 電話 < 0566 > 23-6611( 代表 )



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



本紙は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

### <お知らせ> 商号変更に伴う株券引換えのご案内

商号の変更に伴い、ご所有の旧商号「豊田紡織株式会社」の株券を新商号「トヨタ紡織株式会社」の株券にお引き換えさせていただきます。引換対象となる株券をご所有の株主各位に別途送付いたしましたご案内をご高覧のうえ、お引換えの手続きをお取りくださいますようお願い申し上げます。なお、株券保管振替制度により、証券保管振替機構へ預託されている株券につきましては、お引換えの手続きは必要ございません。

ご不明の点は、UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(電話 < 03 > 5683-5111( 代表 ))またはUFJ信託銀行株式会社 全国各支店、野村證券株式会社 全国本支店にご照会ください。